

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ちょこから
住 所	熊本県合志市幾久富 1 1 2 3 - 5
電話番号	096-227-9001

事業所番号	4312900576
管理者名	藤本 由貴
対象年度	R5年度

(I) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		65 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	○	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	60 点
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(III) 多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		15 点
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）		5 点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(IV) 支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15 点
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		5 点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(V) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

(VI) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点
期限内に提出していない場合：-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	175 点 / 200点
----	-----------------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）







(Ⅰ) 労働時間					
前年度（ R5年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	9,762	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	1,820	人
			利用者の1日の平均労働時間数	5	時間
(Ⅱ) 生産活動					
会計期間（ 4月～ 3月）					
前々々年度（ R3年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	5,058,308	円	利用者に支払った賃金総額	4,370,426	円
			収支	687,882	円
前々年度（ R4年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	5,842,227	円	利用者に支払った賃金総額	5,558,761	円
			収支	283,466	円
前年度（ R5年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	10,014,045	円	利用者に支払った賃金総額	9,729,893	円
			収支	284,152	円
(Ⅲ) 多様な働き方					
前年度（ R5年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）					
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		②利用者を職員として登用する制度		③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている		◎利用者を職員として登用する制度を定めている			
④フレックスタイム制に係る労働条件		⑤短時間勤務に係る労働条件		⑥時差出勤制度に係る労働条件	
				◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている		◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている			
(Ⅳ) 支援力向上					
前年度（ 年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		②研修、学会等又は学会誌等において発表		③視察・実習の実施又は受け入れ	
◎研修計画を策定している		◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している		◎先進的事業者の視察・実習の実施している	
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。		※研修名 熊本・生と死を考える会定例会		もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	
※研修名 プール・園場の管理研修		実施日 R6 1月20日		※先進的事業者名	
研修講師 本田 洋志 様		※学会誌等名		実施日/参加者数 月 日 人	
実施日・受講者数 2月25日 3人		掲載日 月 日		※他の事業所名 社会福祉法人宮共生会	
		発表テーマ		実施日/参加者数 8月19日 5人	
④販路拡大の商談会等への参加		⑤職員の人事評価制度		⑥ピアサポーターの配置	
◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。		◎職員の人事評価制度を整備している		◎ピアサポーターを配置している	
※商談会等名 プレミアムデイズ		◎当該人事評価制度を周知している		◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	
主催者名 株式会社JR熊本シティ		人事評価制度の制定日 R2年4月1日		※配置期間 月 日～月 日	
日時 3月15日～3月24日		人事評価制度の対象職員数 5名		就業時間	
内容 久遠チョコレート販売		うち昇給・昇格を行った者 4名		職務内容	
		当該人事評価制度の周知方法 事業所内掲示			
⑦第三者評価		⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている		◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている			
※評価を受けた日 月 日		※認証を受けた日 月 日			
第三者評価機関		規格等の内容			
(Ⅵ) 経営改善計画					
◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。					
※受理日 年 月 日					

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ちょこから	事業所番号	4312900576
住 所	8611112	管理者名	時本 由貴
電話番号	熊本県合志市幾久富 1 1 2 3 - 5	対象年度	R5年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：合志市幾久富1264 実施日程：6～7月随時収穫作業 実施した生産活動： ブルーベリー圃場の整備、収穫、選別等 利用者数：A型利用者5名</p>	<p><活動の様子></p>  <p>シフォンサンド</p>  
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい： 地元食材を使用したスイーツ店とのマッチング 地域にとってのメリット： 事業所の果物を使用することで社会的窓口の広がりを期待 対象者にとってのメリット： 自らが育てた果物が商品に使用されることで、喜びや自信、誇りに繋がる。</p>	<p>かき氷ブルーベリーソース</p>  <p>ブルーベリームース</p> 
<p><成果></p> <p>実施した結果 当事業所のブルーベリーを使用したスイーツの販売 得られた成果 ケーキのトッピングやかき氷のソースに使用され好評 いただいた</p>	 <p>同法人内で開催された子ども向けのお菓子教室では、子ども達とスフレチーズケーキを作り、そのトッピングとしてブルーベリーを使用された。</p>

連携先の企業等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価</p>			
<p>摘みたての旬の美味しい材料を使用出来たことで、お客様にとても喜んでいただけた。更に他の商品に対する興味も持っていただけた。（お菓子教室で）旬のフルーツで安心なものを使用できる事は、作る側も参加する側もとても嬉しいことだった。</p>			
<p>今後の連携強化に向けた課題</p>			
<p>旬の時期にはお菓子のラインナップを増やし、お菓子を通して就労支援事業の内容をより多くの方へお伝えできたら尚良いと思う。</p>			
<p>連携先企業名</p>	<p>casuelle rencontre</p>	<p>担当者名</p>	<p>小川 未央 様</p>

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	島津 智之	事業所番号	4312900576
住 所	8611112	管理者名	蔦本 由貴
電話番号	熊本県合志市幾久富 1 1 2 3 - 5	対象年度	R5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：合志市栄字牟田1405-3</p> <p>実施日程 R5年4月9日、R6年3月31日（他、適宜）</p> <p>実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要</p> <p>当事業所で進めていくコーヒー栽培において、栽培の基本的な知識や管理方法などを指導していただいた。</p> <p>利用者数 5名</p>	<p><活動の様子></p>   <p>コーヒーの脇芽摘みを教えていただき、A型メンバーで実施しました。</p>   <p>後藤先生のご指導のもと、当事業所もコーヒーの木の栽培が本格的に始まりました。苗植えイベントは40組程の参加があり、初めての苗植え会も大変好評いただきました（計3回実施）。コーヒーの木はビニールハウスですくすくと成長中です。後藤先生には植え付けから、日々の管理（水やりのタイミングや、カイガラムシの除去の方法など）の指導、苗植え会のサポートまでしていただき、職員、A型メンバー含め大変勉強になりました。</p>
<p><目的></p> <p>利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい</p> <p>日常の作業だけでなく、専門的な知識や技術を学ぶこと</p> <p>利用者にとってのメリット</p> <p>専門家から直接指導を受けることができる</p>	
<p><成果></p> <p>実施した結果：よりコーヒー栽培に興味を持ち日々の作業に取り組めるようになった</p> <p>得られた成果：昨年植え付けしたコーヒーの苗も日々の手入れも良く無事に成長した</p> <p>課題：後藤コーヒーファームさんでの実地研修ができなかったため、今年度は現地に出向いて積極的にいきたい</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価</p> <p>昨年本ファームにおいてコーヒー栽培に関する基礎的な体験研修を行いました。</p> <p>本年度は事業所において実際に栽培を開始し、植え付けから栽培管理までを実施しました。</p> <p>利用者の方々は積極的に取り組み、昨年の不安な様子から自信を持って栽培管理される姿にたいへん成長を感じました。</p> <p>来場者への対応も頼もしい姿を見ることが出来ました。コーヒーの成長とともに利用者の方々の成長も感じました。</p> <p>今後の連携強化に向けた課題</p> <p>今後来年度のコーヒー収穫に向けて、栽培管理もいろんな対応が必要になりますが、初めての体験を通してさらに成長していけるかと思っています。それらの成功体験を経て自立していけることを確信して手応えを感じています。</p>	
連携先企業（担当者）	後藤コーヒーファーム 後藤 至成 様

利用者からの意見・評価

コーヒーの苗植えをして、植え方や管理のしかたを知ることができてよかったです。かいがら虫をとるときに、つかいすての歯ブラシをつかってとることを学びました。ごとう先生に来てもらってうれしかったです。